

しもだて美術館企画展

入場無料

1月20日[土]～3月11日[日]

【時間】 10:00～18:00 入場は17:30まで

【休館】 月曜日（2/12は開館、2/13は休館）

しもだて美術館

アルテリオ3階 TEL 0296-23-1601
http://www.city.chikusei.lg.jp/museum

はーと to はーと展

ーおっことケイコと風子の展覧会ー

伊藤佳子『明月流素光』平成5年



渡辺良子『ハウステンボス』平成10年



富永房枝『未来への一步』平成16年



足を使ってタイプアートを描く、『おっこ』こと渡辺良子さん(大町)。口に筆をくわえて書道に取り組む、『ケイコ』こと伊藤佳子さん(東京都)。足で詩画を描く『風子』こと、富永房枝さん(長野県)。しもだて美術館では、それぞれが身体に障害を抱えながらも前向きに人生を歩み、自分の美の世界を拓いて多くの人に感動を与え続ける3人の、ジョイント展を開催します。また会期中は、ワークショップや『ハートの1週間』などのイベントも実施します。

交流会

1月20日(土)・21日(日) おっこさん、ケイコさん、風子さんの3人を迎えて、交流会を開催します。

ハートの1週間 ちょこっとハートのプレゼント

2月10日(土)～18日(日)

バレンタインデーにちなみ、家族で来場した児童・生徒に、プレゼントが当たるくじをさしあげます。

ワークショップ

▶おっこの日『タイプアート制作』

1月28日(日)・2月17日(土) いずれも午後1時30分～

▶ケイコの日『インタビュー・トーク』

2月17日(土) 午後(時間未定)

▶風子の日 『風子の世界 トーク&ライブ』

2月11日(祝)・12日(月) いずれも午後1時30分～



「渡辺良子」生後間もなく脳性小児麻痺となり、以後不自由な生活を余儀なくされる。父が買ってくれたタイプライターで手紙や日記を書いていたが、やがて姉の勧めでタイプアートの世界に。その作品は高い評価を得ており、肢体不自由児者の美術展厚生大臣賞など数多くの賞を受賞。平成9年、父の残した医院を改装してギャラリー「おっこの室」を開館。「おっこ」は、父がつけてくれた愛称。

「美術館が開館したときから、一度でいいから、あの立派な施設で展覧会をやりたいと思っていました。夢がかなって最高にうれしいです。私の夢は何でもかなうんです(笑)。特に観てもらいたいのには、380時間もかけて描いた『ハウステンボス』、市に寄贈した『二宮尊徳像』、辻村寿三郎さんの人形作品を描いた『シーボルトいね』など。これまでに184点の作品を描いてきました。2000点になったら新しい画集を出版するのが現在の目標です」。



「夢がかなって最高にうれしい」
わたなべ 良子
タイプアート・渡辺良子

サントスユキエさんが市長賞



スピーチコンテストに出場したみなさん

「外国人による日本語スピーチコンテスト」が、12月9日、スピカ・コミュニケーションプラザで開催されました。

スピーチコンテストは、筑西市国際交流連絡協議会（我妻愛子会長）が主催。国際化が進むなか、日本に住む外国人と日本人がお互いの価値観を認め合い、良好な関係を築くきっかけになればと企画されました。

出場したのは、市内や近隣市町村に住む12人の外国人のみなさん。日本に来て驚いたことや将来の夢、自国の自慢ばなしなど、それぞれの思いを発表

しました。

市長賞に輝いた、サントスユキエさん（22歳・ブラジル出身）は、来日したころの苦労、あたたかく見守ってくれた恩師への感謝の気持ち、そして努力が実を結び、悲願の看護師国家試験に合格したことを語りました。また、最後に日本の若者に向けて、夢をあきらめず目標に向かってもっと努力する



市長賞を受賞した
サントス ユキエさん

よう訴え、会場の共感を呼んでいました。コンテストの入賞者は以下のとおりです。（敬称略）

- 筑西市長賞 サントス ユキエ（ブラジル・宮後）
- 筑西市議会議員賞 テレコーバネリ ニコラヴァナ（ロシア・下岡崎）
- 筑西市教育長賞 門長 世志（ブラジル・古河市）
- 連絡協議会長賞 趙 順女（中国・木戸）
- 特別賞
- ◇ イプトウジャヤプライテナ（インドネシア・川島）
- ◇ 鄧 盈盈（中国・舟生）
- ◇ ゲン ホワン ニュツ（ベトナム・泉町）
- ◇ イマデ・ジャリアワン（インドネシア・川島）
- ◇ 孫 雅娟（中国・折本）
- ◇ ラジャビーハミートレザー（イラン・結城市）
- ◇ 西山 さゆり（ブラジル・下妻市）
- ◇ イングラパラジャドミカ（インドネシア・川島）

メモ

■ 元協和町助役の鈴木稔さんに瑞宝双光章



鈴木稔さん（88歳・小栗）が、瑞宝双光章を受章しました。鈴木さんは、小栗村および協和村、協和町役場に勤務。昭和51年から61年まで、同町収入役と助役を歴任し、町の

発展と地方自治に寄与したことが認められての受章です。「印象深いのは小栗村時代に米供出のため農家をまわったことと、昭和43年の町内3中学校統合による協和中学校建設。受章はみなさまのおかげです。誠にありがとうございます」。

■ 羽田和美さんに農林水産大臣感謝状

農林水産省による農林水産統計調査に貢献した功績により、羽田和美さん（78歳・西石田）に農林水産大臣感謝状が贈られました。この調査の結果は、農家の経営改善や農村の基盤整備などのための基礎資料として利用されています。

■ 『家庭の日』ポスター・絵画作品 80点を展示



しもだて美術館と青少年育成筑西市民の会が、市内の小中学生を対象に『家庭の日』ポスター・絵画コンテストを実施。11月1日から12月24日まで、同館と市生涯学習センター、あけの元気館、協和公民館の4会場で巡回展示を行いました。

■ ねんりんピック・リハーサル大会を開催

12月9日、県西総合公園で、ねんりんピック茨城2007テニス交流大会のリハーサル大会を開催しました。ねんりんピックとは、高齢者を対象としたスポーツ、文化、健康と福祉の祭典で、昭和63年の第1回兵庫大会以来、毎年各都道府県を会場に開催されています。今回のリハーサル大会は、今年11月に同会場で行う本大会のための準備大会で、茨城、千葉、埼玉、栃木、群馬の各県から約100人の選手が参加。本番さながらに試合を行い、交流を深めました。